

登録コード	T5B08300	開講年度	2026					
授業科目	プロダクトマネジメント演習(16T以降)					担当教員	高村 秀紀	
英文授業名	Exercises in Product Management					副担当		
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限		対象学生	建築学科3年生
講義室	工C3-100教室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】	
	2.5Tカリ, 2.3Tカリ							
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。					⇔	住宅や一般建築の省エネ設計をする能力が身についている。	
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。					⇔	・毎回実施する演習課題について第三者にもわかりやすく取りまとめることが出来るようになる。 ・演習結果を第三者にプレゼンする能力を習得する。	
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。					⇔	・演習を通し、現在の建築物をさらに省エネ化を推進するための課題を見つけ解決策を提案できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	担当教員が高断熱・高気密住宅の工法開発、換気システム開発、温熱シミュレーションの実務経験を活かして講義を行う。 プロダクトマネジメント論で学習した内容の演習を行い、知識の定着を図る。							
(5)授業計画	第1回 熱貫流率の計算 第2回 平均熱貫流率の計算 第3回 面積・気積の計算 第4回 熱損失係数、外皮平均熱貫流率、日射熱取得率の計算 第5回 窓ガラスからの熱負荷計算 第6回 各部位、隙間風の熱負荷計算 第7回 内部発熱、外気負荷の計算 第8回 冷房時の空調機の処理プロセスの演習 第9回 暖房時の空調機の処理プロセスの演習 第10回 表面結露の演習 第11回 内部結露の演習 第12回 熱負荷計算ソフトの操作 第13回 地球環境負荷を低減させる建築物の調査 第14回 まとめ 第15回 プレゼンテーション 授業アンケート							
(6)成績評価の方法	演習課題とレポートと出席状況により評価する。ただし、講義内で行う演習点を適宜加点する場合がある。基本的に90～100点を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可とする。							
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの間が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」							
(8)事前事後学習の内容	週1回の授業で2単位の授業(90時間の学修が必要) 授業時間30時間(2時間×15回)、自習学習時間60時間(4時間×15回) 講義前に毎回教科書を読むことが必要である。							
(9)履修上の注意	特になし							
(10)質問、相談への対応	講義中及び講義終了時に受け付ける							
(11)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	平成25年度省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説 II住宅 出版社：建築環境省エネルギー機構 価格：10,000円+税 空気調和ハンドブック ISBN：4870711974 出版社：丸善出版 価格：4,200円+税 徹底マスター 空気線図の読み方・使い方 ISBN：9784274102271 出版社：オーム社 価格：2,800円+税							